

患者支援センターだより



ごあいさつ

病院長 眞庭 謙昌



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に変更され、当院におきましても新型コロナウイルス感染症への配慮、対応は継続しつつも、現在は専用病床の確保も解除し、通常の診療を完全に取り戻しています。本来の特定機能病院および高度急性期病院としての役割をしっかりと果たして参りますので、これまで通りの連携をお願いします。

地域医療連携は当院の診療機能の基盤であり、引き続き皆様からのお声を頂戴しながら、そのつながりをさらに強く、太くしていくよう取り組んでまいります。その一環としてこの広報誌を発行し、当院の最新情報を知っていただき、みなさまにとって当院が身近な存在になっていけばと考えておりますので、是非とも目を通していただければ幸いです。

みなさまとの連携により、この地域における医療のさらなる充実、そして患者さんの満足を目指して参りたいと思いますので、今後ともご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

副病院長兼看護部長・患者支援センター長 板東 由美



平素より格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます

令和4年看護部長を拝命し、約1年が経過致しました。令和5年度は、病院の通常診療回復と患者さんのより良い医療・看護を目指し尽力してまいりました。看護部は、引き続き地域の皆様方とともに、患者さんのその人らしさを大切につなぐ～つなげる～つながるチーム医療・地域連携を実践してまいりたいと考えております

くわえて、令和6年2月1日からは、患者支援センター長を拝命致しました。患者支援センターは、約60名の職員が在籍し、地域連携・総合相談・入院支援及び退院支援業務を医師・看護師・MSW・事務が協働し、多職種で連携し実践しております。患者中心の医療の実践を目指すためには、連携医療機関そして地域の皆様方とつながる関係が重要と考えております。地域医療機関の皆様とは、これまで以上によりよい関係を築きながら、未来の地域医療構想が明るいものになるよう協働してまいりたいと存じます。まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Contents

病院長・患者支援センター長からのご挨拶	1
患者支援センターからのご案内	
・患者支援センター長退任のご挨拶	2
・面会制限緩和のご案内	3
・神戸市難病相談支援センターからのご案内	4
診療科・部門からのご案内	
・乳腺内分泌外科	5
・消化器内科	6
・認知症センター	8
国際がん医療・研究センターからのご案内	
・呼吸器外科	10
・形成外科	11
患者支援センター問い合わせ一覧	12



患者支援センター長退任のご挨拶



2021年2月より3年間、患者支援センター長を拝命しておりました**形成外科・美容外科診療科長の寺師浩人**です。患者支援センターの4部門の方々へたいへんお世話になりましたこと、心より感謝申し上げます。約60人の大所帯である支援センターのみなさまのお仕事が、いかに病院を支えているのかを思い知らされた3年間でした。わたしの担当している診療、そしてわたし自身も強く支えていただきました。

後任は、もともとのご専門であった板東看護部長とお聞き、安心して任せられる方でホッとしましたが、看護部長との二刀流ですので、センター全体のより一層のガンバリと支えが求められるのだろうと思考いたします。

神戸大学病院全体のよりよい機能充実のために、今後の患者支援センターのご発展を心より祈念いたします。

また、神戸大学病院の関連病院・関連施設の方々へさらなる強固な連携をお願いしたいと存じます。



形成外科・美容外科診療科長
寺師浩人

■ 病院訪問のご案内

これまでご訪問いただきました医療関係者の皆様には改めてお礼申し上げます。当院へのご訪問は、下記要領にてお申し込みください。

お申込の方法

下記アドレスにメールにてお申込ください。

患者支援センター広報 sienkoho@med.kobe-u.ac.jp

メール記載事項

1. 実施設名

2. 希望日時

◆希望日

※可能であれば希望日時は3つ程度ご提案ください。

◆希望時間帯を選び、ご記入ください。

① 11:00～11:30 ② 11:30～12:00

③ 15:00～15:30 ④ 15:30～16:00

⑤ その他（ご希望に添えない場合もございます）

3. ご訪問の内容

◆特にご希望の診療科や議題がある場合にはお書きください。

（例）希望内容 △△科の新任挨拶・セミナーのお知らせ



皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

例 施設名 ○○医院
希望日時 第一希望 8月 9日 ① ②
第二希望 8月 26日 ④



面会制限の緩和のご案内

面会制限の緩和について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、入院患者さんへの面会を原則中止とさせていただいておりました。しかしながら、患者さん・ご家族から、面会を希望されるご意見を数多くいただいております。そのため、入院されている患者さんやご家族に安心して治療を受けて頂けるよう、患者サービス向上委員会で面会制限の緩和について検討を重ね、**令和5年12月29日より面会制限を緩和し、休日の面会が可能**となりました。

当院は重症化リスクの高い患者さんが多く入院されているため、今後も感染者数の状況によっては、入院されている患者さんの安全のため、再度制限をお願いする可能性があります。患者さん・ご家族の療養生活がより良くなるように、引き続きサービス向上に努めてまいります。

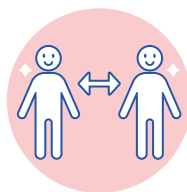
十分なお満足をご提供する環境とはいきませんが、何卒ご協力をお願い申し上げます。

令和5年12月29日(金)からの一般病棟における面会可能な要件は次のとおりです。

■ 面会時間 毎日 **13時から16時**までです。

■ 面会時の注意

- ・来院されたら、**必ず検温**を行い、面会者問診票に記入してください。
(平日：病棟ステーション、休日：正面玄関)
各病棟ステーションで問診票を提出し、手指衛生をお願いします。
- ・面会者は **2名**以内です。(ご家族やキーパーソンの方) (※未就学児の方はご遠慮願います。)
- ・面会時間は **15分**以内です。
- ・面会場所は
 - * 個室の方：個室
 - * 4床室の方で移動可能な場合：患者用食堂
 - * 移動が難しい場合：病室内
- ・感染対策の観点から、双方がマスクを着用し、患者さんと距離を取っての面会をお願いします。
- ・**患者さんの病状や同室患者さんの病状によって**、主治医の判断で面会を制限することがあります。
 - * (例) 4床室で移動が難しい患者さんとの面会の場合
 - * 同室入院患者さんが免疫不全等の場合
 - * その他医師が面会制限の必要があると判断した場合
- ・休日は事務員不在のため、病棟ステーションでお待たせする可能性があります。ご容赦ください。





神戸市難病相談支援センターからのご案内

医療福祉関係者対象

Zoom開催！

神戸市難病相談支援センター

この機会をお見逃しなく！
皆様のご参加を心よりお待ちしております



イベントのお知らせ

KOBE難病ケア勉強会



日時：2024年5月17日（金）17：30～18：30
テーマ：障がいや難病があっても住み慣れた自宅で過ごす「重度訪問介護制度」について
講師：（株）土屋顧客創造部 杉 隆司先生
（株）土屋ホームケア管理者 松本 満先生



申込みコード

事例検討会



偶数月の平日18時～19時に難病患者さんの様々な事例について皆様と話しあう場を持ちたいと考えています。詳細に関しましては改めてホームページなどをご覧ください。案内をご希望の方がおられましたら下記二次元コードにご登録ください。開催日時やテーマが決定次第、メールにてお知らせします。



申込みコード



日時：2024年7月26日（金）17：30～18：30
テーマ：支援者が知っておきたい！
障害年金の基礎知識
講師：神戸元町労務管理サポート
特定社会保険労務士・労働衛生コンサルタント
角森 洋子先生



申込みコード

事例検討会とは・・・

- ①地域における難病医療ケアにおける課題抽出
- ②実践的な問題解決・実践能力の向上
- ③相互理解の推進・連携強化

お問い合わせ先

神戸市難病相談支援センター

TEL：078-382-6600

E-mail：knanbyo@med.kobe-u.ac.jp

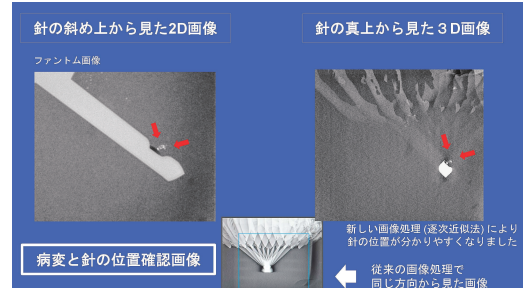




乳腺内分泌外科からのご案内

トモシンセシスガイド下生検開始のご案内 (DBT-VAB : digital breast tomosynthesis-guided vacuum-assisted biopsy)

マンモグラフィ装置の更新により 2024 年 1 月から DBT-VAB ができるようになりました。3D 画像を使用する DBT-VAB は、従来の 2D 画像で行うステレオガイド下生検よりもターゲットの設定が容易かつ短時間で可能となるため、検査時間の短縮と被曝量の低減が期待できます。そのうえ正確に組織を採取できるため、患者さんにとっても医療者にとってもメリットの多い検査となっています。

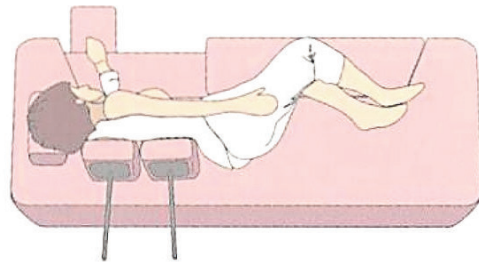


対象となる患者さん

- ・マンモグラフィまたはトモシンセシスで確認でき、超音波検査では描出困難な病変
- ・30 分間程度の側臥位を保てる方
- ・抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいない、または中止が可能な方
- ・乳房にある程度の厚みがある方（圧迫時乳房厚 25mm 以上が目安）



検査室の様子（生検時）



側臥位イメージ図

外来診察で精密検査が必要と判断された場合、DBT-VAB を予約（木曜午後）します。検査当日は、専用ベッドを使用し原則側臥位で検査を実施します。側臥位で実施することにより、坐位で頻度の高い迷走神経反射を抑えることができます。また局所麻酔を使用しますので痛みを感じることも殆どありません。

マンモグラフィ撮影はもちろんトモシンセシス生検も全て女性技師が担当しますので、安心して検査を受けていただくことができます。

精査症例がございましたら、ぜひご紹介を宜しくお願い致します

当科は完全予約制となっております。診察予約は、医療機関から地域医療推進室を通じてご予約を承ります。予約当日、紹介状（地域や規模は問いません）の持参をお願いします。



消化器内科からのご案内

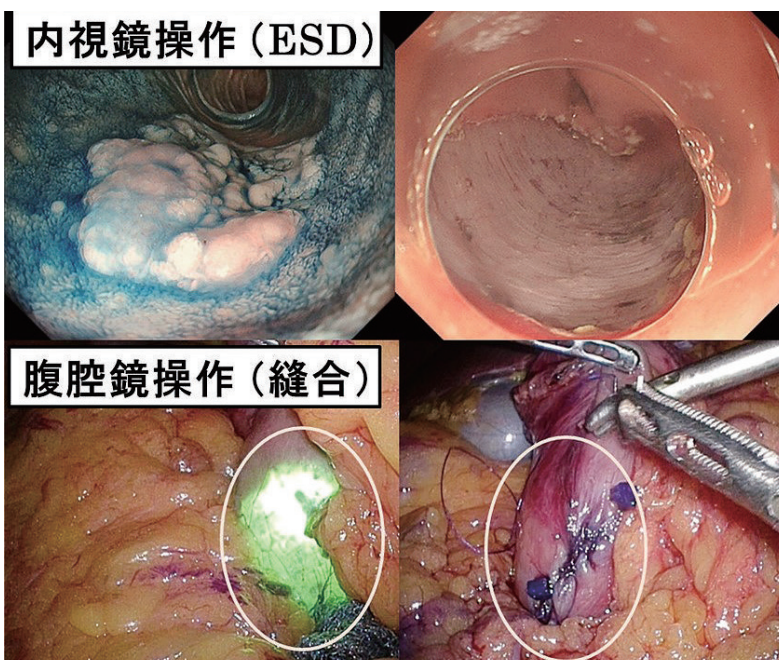
新任のご挨拶

令和6年2月1日付で神戸大学医学部附属病院の光学医療診療部長に着任いたしました消化器内科の増田充弘と申します。光学医療診療部は「世界をリードする最先端の内視鏡技術をベースに、疾患の本質を見る眼と患者さんを診る心を育む」をモットーにして各診療科と連携しながら日々診療に従事しております。安全を第一に考えつつも最先端の内視鏡技術を積極的に取り入れる活気のある部門を目指したいと思っております。

光学医療診療部の取り組み（消化器内科部門）

消化管グループ

消化管グループは豊永高史前光学医療診療部長を中心とし消化器癌の早期発見、早期消化管癌の内視鏡治療、特に内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）に力を入れております。令和5年1年間の上部消化管内視鏡検査は7699件、下部消化管内視鏡検査2947件でした。ESDは胃・食道・大腸合わせて411件でした。食道アカラシアに対するPOEM (Per-Oral Endoscopic Myotomy) や、食道胃腸外科と共同で胃粘膜下腫瘍や十二指腸腫瘍に対するLECS (Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery) も積極的に行っています。また、最近では難治性逆流性食道炎に対する逆流防止粘膜切除術（ARMS）も随時行っています。IBDグループを中心に小腸内視鏡検査にも力を入れており、令和5年1年間で小腸カプセル内視鏡検査55件、ダブルバルーン小腸内視鏡検査38件でした。当院は日本カプセル内視鏡学会指導施設に認可されております。

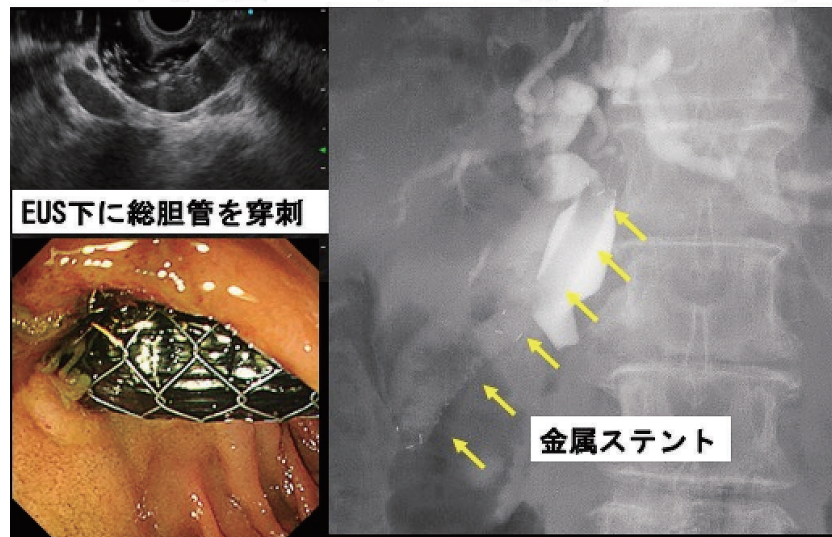


■ 胆膵グループ

胆道・膵疾患に対して、超音波内視鏡 (EUS) や内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP) による内視鏡診断・治療を専門的に行なっています。令和5年1年間で胆膵EUS 860件、EUS-FNA 157件、ERCP 625件施行しており、国内トップクラスの high volume center です。胆道癌、膵癌などの悪性疾患から胆管結石、膵炎などの良性疾患まで幅広く対応しています。EUS 下胆管ドレナージ (EUS-BD)、バルーン内視鏡を用いた ERCP (BA-ERCP) といった高難度内視鏡治療も日常的に、安全に行える体制を構築しています。

特に、早期膵癌・胆道癌の内視鏡診断・治療、膵石の内視鏡治療、急性膵炎後の被包化壊死 (WON) の治療に力を入れています。

EUS下胆道ドレナージ術 (EUS-CDS)



■ 肝グループ

肝硬変の合併症である食道静脈瘤に対して、内視鏡を用いた静脈瘤の硬化治療を積極的に行っています。特殊光を用いて粘膜の下層にある血管を透過し、穿刺成功率を上げ処置時間を短くする工夫を取り入れております。また、経皮経肝胆管ドレナージ (PTBD) も積極的に行っています。

最後に

診断困難例や高難度の内視鏡治療の症例などでお困りの際には地域連携室を通じて当院に積極的にご紹介をよろしくお願い致します。



認知症センターのご案内

本センターの紹介

当院の認知症センターでは精神神経科と脳神経内科の 2 科共同体制で認知症診療にあたっています。それぞれの科の特性や得意分野を生かし、早期診断から BPSD への対応まで幅広いニーズに対応しています。

認知症新薬レケンビ® (レカネマブ) への対応について

昨年 12 月に上市されたアルツハイマー病を対象とした新規の認知症薬レケンビ® (レカネマブ) は、厚生労働省作成の最適使用推進ガイドラインによってその適応となる患者要件や投与施設要件が細かく設定されています。当院の認知症センターは施設要件を満たしており、要件の一つである脳内のアミロイド蓄積を確認するための検査 (アミロイド PET や腰椎穿刺による髄液採取) も院内で実施可能です。

本治療をご希望の方も多くおられるとは思いますが、本治療の対象となる方は MMSE 22 点以上と比較的早期の方が対象となること、効果が限定的であること、脳出血の既往をはじめ様々な禁忌事項のあること、副作用として脳のむくみや出血などが 2 割以上の方で生じること、2 週に 1 回の頻度で 80 分程度時間のかかる点滴による治療を定期的に通院で行う必要があるなど、従来の治療とは全く異なるものですので、ご紹介前にまずは希望される方々へ正しく理解いただくようご説明をお願い致します。また、以上のような理由で治療の適応外とされる方が非常に多いこともあらかじめご紹介前にあわせてご説明ください。また神戸モデルをご利用いただく場合には、2 次医療機関での検査を経てご紹介いただけますと幸いです。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

今年度の研修会予定

認知症の診療や介入に従事する方に、認知症の人への正しい対応方法などより専門的な知識を修得し、実際の症例においてその知識を生かせるよう、定期的に臨床症例検討会や事例検討会を開催しています。いずれも先生方からご紹介いただいた症例や教訓を含んだ症例など、かかりつけ医の先生方やコメディカルの皆様にもわかりやすい内容を心がけています。ハイブリッド形式で実施し、多くの先生方が参加していただけるようになっております。詳細につきましては、開催 1 か月前にホームページのお知らせ欄に掲載しますので、ご確認の上お申し込みください。

『臨床症例検討会』

第 1 回 令和 6 年 7 月 11 日 (木) 演者：脳神経内科医師	第 2 回 令和 6 年 9 月 5 日 (木) 演者：精神科神経科医師
第 3 回 令和 6 年 11 月 28 日 (木) 演者：脳神経内科医師	第 4 回 令和 7 年 1 月 23 日 (木) 演者：精神科神経科医師

『事例検討会』

令和 6 年 12 月 12 日 (木) 演者：精神保健福祉士

時間：上記日時の 16:00 ~ 17:00 参加費：無料
会場：神戸大学医学部 福利厚生施設 4 階 神緑会館記念ホール
※ハイブリッド開催

連絡先

認知症センター (外来診療棟 3 階 精神科神経科外来内)
平日：9 時 00 分 ~ 12 時 00 分および 13 時 00 分 ~ 17 時 00 分
(土・日・祝日・年末年始はお休みです)
TEL: 078-382-6908 (直通) E-mail: ncenter@med.kobe-u.ac.jp

令和6年4月吉日

神戸大学医学部附属病院認知症疾患医療センター 令和6年度 臨床症例検討会の開催のお知らせ

神戸大学医学部附属病院 認知症センター長 松本 理器

今年度の臨床症例検討会を下記の要領にて開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

開催方法は会場とオンラインのハイブリッド開催といたします。

参加希望の方は下記の URL、または QR コードを読み取り、申し込みフォームに入力後、送信してください。

オンライン参加でお申込みの方には、開催日1週間前からいただいたメールアドレスに、検討会に参加する際に必要な参加 URL、ID、パスワード等をお送りします。

第1回 令和6年 7月11日(木) 予定 演者:脳神経内科 医師 内容:開催 1 か月前にホームページのお知らせ欄に掲載	第2回 令和6年 9月 5日(木) 予定 演者:精神科神経科 医師 内容:開催 1 か月前にホームページのお知らせ欄に掲載
第3回 令和6年11月28日(木) 予定 演者:脳神経内科 医師 内容:開催 1 か月前にホームページのお知らせ欄に掲載	第4回 令和7年 1月23日(木) 予定 演者:精神科神経科 医師 医師:開催 1 か月前にホームページのお知らせ欄に掲載

申し込みフォーム

URL <https://docs.google.com/forms/d/1AypPaynP5mQq9uRoUSZ3IdHgIJPBMMbhAvyWXRxBvXo/edit>

QR コード



本検討会は神戸市の地域連携拠点事業の一環で開催されるものであり、認知症診断において、認知症疾患医療センターと地域の専門外来やかかりつけ医、在宅療養支援診療所等間の医療連携を構築することが目的です。

開催日時

※演者、内容につきましては、決定次第お知らせいたします。

時間 :上記日時の 16:00~17:00

会場: 神戸大学医学部 福利厚生施設 4階 神緑会館記念ホール ※ハイブリッド開催

参加費:無料

**対象者:認知症サポート医を含む開業医
認知症診療に関心のある医師等**

内容:メモリー外来担当医師の症例

<問い合わせ先>

〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5番2号

神戸大学医学部附属病院 認知症センター

E-mail ncenter@med.kobe-u.ac.jp





ICCRC

呼吸器外科からのご案内

呼吸器外科より

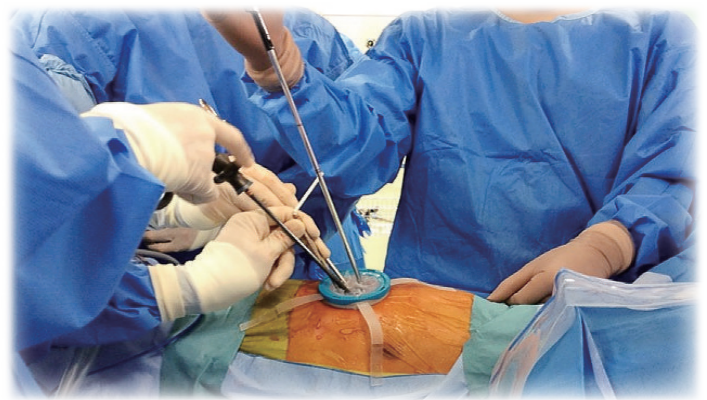
呼吸器外科は胸部にあって肺・気管・気管支・縦隔（じゅうかく）・胸壁・横隔膜など心臓や食道以外の、呼吸器にかかわる疾患の手術治療を担う科です。当科ではほとんどの疾患に対して胸腔鏡手術（小さな傷だけで行う内視鏡手術）を施行しております。小さな傷だけで手術を終えることで、感染や肺炎など手術後に起こる恐れのある合併症を減らすことができ、さらには痛みの軽減や入院期間の短縮など入院中のストレスを減らすことができます。また、近年は疼痛をさらに最小限に抑えるために、整容性にも優れた小さな傷1つのみでおこなう「単孔式胸腔鏡手術」にも力を入れています。

■ Topics

当科ではこれまでも、気胸に対して2cm弱の傷1つのみで行う単孔式胸腔鏡手術をはじめとした専門的加療を行ってきました。

気胸は呼吸器外科を専門としない一般外科などでも時に扱われる疾患ですが、若年自然気胸においては受験、就職など人生の節目に発症してしまう場合も多く、専門施設でのより確実な治療が必要であると考えています。また、続発性気胸においては治療選択が難しく、合併症など様々な問題を抱えるハイリスク症例であることが多いため、専門施設での治療が不可欠であると考えています。このような背景の中、高度な診断と専門的治療を適切に提供する目的で気胸・嚢胞性肺疾患研究センターを開設しております。

気胸をはじめ迅速な外科的対応が必要な呼吸器疾患が疑われた場合、下記にご連絡ください。迅速な対応がとれるよう24時間体制でご連絡を受けますので、昼夜を問わずご相談ください。お待ちしております。



▶気胸に対して2cm弱の傷1つのみで手術を行います

連絡先

神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科

代表：078-382-5111（当科医局直通078-382-5750）

夜間：078-382-6510（夜間救急受付より担当医につながります）

外来診察日等、詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.med.kobe-u.ac.jp/gts/>（神戸大学呼吸器外科）

<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/icrc/dep/kokyuki/>（ICCRC呼吸器外科）



ICCRC

形成外科からのご案内

国際がん医療・研究センター形成外科の後村大祐と申します。

形成外科は、先天的・後天的に生じた体表面上の異常、変形、醜状に対して、治療・再建を行う診療科で以下の**対象疾患**にあるような疾患の治療を中心に診療に当たっています。体表面上の問題は、生活の質を低下させるだけでなく機能的な問題を伴うこともあります。そのため、それぞれの方の病状、生活などを多角的に検討しながら治療を行っています。

これら対象疾患の中でも近年、当科はリンパ浮腫治療にも力を入れています。リンパ浮腫の原因は様々ありますが、本邦ではがん治療に伴って生じることが多く、四肢の著しい浮腫みや蜂窩織炎など患者さんのQOLを下げる原因となってしまう。当科ではリンパ浮腫に苦しむ患者さんの生活を守るべく、リンパ管静脈吻合術などの手術加療に積極的に取り組んでいます。また当センターでは着圧衣指導やリンパドレナージなどを行う専任看護師によるリンパ浮腫看護外来や、運動療法によるリハビリ外来を行っており、こちらとも密に連携しながら診療に当たっています。その他、リンパ浮腫に対する運動療法や栄養指導、スキンケア、着圧衣指導などを入院の中で多角的に、集中的に行うリンパ浮腫教育入院を開始しております。この教育入院はまだ開始したばかりではありますが、浮腫の改善や生活の見直しなど目に見える成果が得られており、体験された患者さんからはご好評いただいております。

対象疾患

- 皮膚・皮下腫瘍
- 瘢痕・瘢痕拘縮
- 肥厚性瘢痕・ケロイド
- 外傷（顔面骨骨折や挫創、皮膚欠損創など）
- 先天奇形
- 難治性皮膚潰瘍
- その他（リンパ浮腫、眼瞼下垂症・腋臭症（わきが）・下肢静脈瘤など）

当科では右記の日程で外来診療を行っており、初診・再診とも行っております。また神戸大学病院形成外科と連携しながら診療を行っています。

お気軽に当センター形成外科あるいは神戸大学附属病院形成外科に御相談いただければ幸いです。

	月	火	水
午前 (9:00-11:00)	後村		後村

アクセスマップ

Access Map



外来診療日・診療時間

General outpatient care

外来診療日・診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:00	○	○	○	—	○
13:00~16:00	○	○	○	○	○

※土・日・祝日は休診日となります。 ※予約のない初診は受け付けておりません。

神戸大学医学部附属病院 International Clinical Cancer Research Center
国際がん医療・研究センター

〒650-0047 神戸市中央区港島南町一丁目5番地1号
 TEL.078-302-7111 (代表) FAX.078-302-7147
<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/iccrc/>

【医療機関専用】患者支援センター問い合わせ先一覧

神戸大学医学部附属病院 代表番号 078-382-5111

✳ 業務時間 / 平日 午前 8 時 30 分 ~ 午後 5 時 00 分



主な業務	対応職種	連絡先
<ul style="list-style-type: none"> 退院支援（在宅支援・転院・施設支援） 各種制度に関する問い合わせ 	看護師 ソーシャル ワーカー	TEL : 078 - 382 - 6623 FAX : 078 - 382 - 5267
<ul style="list-style-type: none"> 診療情報提供書の仲介 訪問看護指示書発行手続き 入院相談（緊急の場合は各診療科へお願いします） 	事務員	TEL : 078 - 382 - 6627 FAX : 078 - 382 - 5267
<ul style="list-style-type: none"> 広報 	事務員	TEL : 078 - 382 - 5522 MAIL : sienkoho@med.kobe-u.ac.jp
<ul style="list-style-type: none"> 外来紹介予約 FAX 受付【地域連携部門 予約担当】 FAX 受付時間：平日 午前 8 : 30 ~ 午後 7 : 00 土曜 午前 9 : 00 ~ 午後 0 : 00 ※日・祝日、年末年始及び、GW、お盆期間の土曜日を除く。 電話受付時間：平日 午前 8 : 30 ~ 午後 5 : 00 ※土日・祝日、年末年始を除く。	事務員	TEL : 078 - 382 - 5264 （予約専用） FAX : 078 - 382 - 5265 （予約専用）

※患者さんからの直接のお問い合わせは受け付けておりません。必ず紹介元医療機関を通じて、ご連絡ください。
 ※入院日日程に関しては、各診療科にお問い合わせ下さい。

アクセスマップ

